

# 入選作品一覧

※作家名は五十音順

通番	作家名	現住所	作品名	作品形態	作品概要説明
1	ウラベ スト 占部 史人	静岡県	ソラ 空とカタツムリ	立体 インスタレーション	カタツムリの殻の形態をした螺旋型の彫刻で、中に入ることができ、中から空を見ることができる。 トロブリアンドの神話から着想された、人生の悲哀や世界の大きさをカタツムリの螺旋によって表現する作品。
2	エイドリアン ADRIAN オーサレス O.SALES	神奈川県	ウィー ゾン オン WE GO ON	平面 立体 映像 インスタレーション	キューブの壁面などに人間の遺伝情報をモチーフとした映像を映し、キューブ内の階段からこれを見る。 人間の記憶と人工知能が共同する作品。
3	オオニシ ヤスアキ 大西 康明	大阪府	ジカン ショ 時間の溝	インスタレーション	メッシュ構造の机の上に日用品を置き、その上から接着剤を垂らし、無数の垂直線と結晶による風景を作る。 空洞や時間の経過から、人の手を離れた非日常や裏側の風景を見る作品。
4	オオスキ ヒロミ 大貫 仁美	千葉県	ヒ 秘められた、その「傷」の在処	立体	キューブ内をガラスで作った衣服で埋め尽くし、美しい「傷＝記憶」の物語を表現する。 「壊れやすい」ガラスの特徴を生かし、対峙する者にある種の緊張感を与える作品。
5	カサハラ タクミ 笠原 巧	岐阜県	ムチツジョ ナカ チツジョ 無秩序の中の秩序	インスタレーション	神話に登場する「ガンギエイ」の動きに基づき、複数台の測定機械が、キューブ内で長さを測っている。 神話と科学が一体となった記憶から、長さという秩序が出現する作品。
6	カワスミ ガクダイ 川角 岳大	埼玉県	ワタシ シ 私たちの知らない犬	平面 立体 インスタレーション	犬の視点とともに滞在制作を行い、その目を重視した展示空間を作る。 まさならなものの見方の先に記憶のゆくえのあり方を考える作品。
7	キタガワ ジュン 北川 純	神奈川県	シツリョウホゾン ホウソク 質量保存の法則	立体	風船状のビニール袋を膨らませ、林と高層ビルという異なった2つの風景を出現させる。 環境の質と量が一定に保ち続けられることを、質量保存の法則として表している作品。
8	タカハシ リン タロウ 高橋 臨太郎	東京都	ファントム コンテナ Phantom container	インスタレーション	幻肢痛（失われた手足の痛み）を患う方の手足の動きを再現した四足歩行ロボットを、岐阜の自然を表現したキューブの中で動かす。 失われた身体の記憶が、生き生きと立ち上がってくる作品。
9	タケナカ ミユキ 竹中 美幸	東京都	キョク オト 記憶の音	インスタレーション	日々の様々な音を音符にし、その譜面を焼き付けた映像用フィルムと光によるインスタレーション。 音を可視化し、フィルムに焼き付けることで、過去の記憶を新たな物語とする作品。
10	チュウ チュウ 宙 宙	京都府	クラウド cloud	立体	キューブ内部に箱状の作品を設置して鑑賞空間を作り、キューブ外からの光を暗闇の中に点群として浮かせさせる。 見る者を異空間へ連れ出し、日常の中に埋もれてしまった、私たちの奥底に眠る記憶が立ち上がってくる作品。

通番	作家名	現住所	作品名	作品形態	作品概要説明
11	ハシモト サシ 橋本 哲史	京都府	こちら、 <sup>イチマルマルイチ</sup> 1001	インスタレーション	キューブ外面を、鎌倉期の一千一体の黄土色仏で飾り、キューブ内面に、現代美術の感覚で作成した一千一体の仏像を配置する。 外面と内面の違いを強調し、現代美術の斬新な表現とした作品。
12	ヒラタ マサキ 平田 昌輝	富山県	アーティファクト ジュウキユウニ Artifact 19-2	立体	日本列島形成時の地質帯に含まれる緑泥片岩（緑色の変成岩）を彫り込んで、男性の半身像を作る。 数億年前の岩石の形成過程でできた文様をあらわにすることで、昔の記憶をよみがえらせる作品。
13	シノ イツル 御宿 至	静岡県	<sup>サムシング</sup> SOMETHING <sup>グレート</sup> GREAT <sup>キョク</sup> 〜記憶の風景〜	立体	現代社会を象徴し、世界の物流現場で無数に使用されているパレット（荷台）を用い、脳内にはそれ以上の数の「記憶の引き出し」があることを喚起し、人体、脳内にある壮大な宇宙の神秘を表現する作品。
14	モリモト タカ 森本 孝	神奈川県	そして、「宇宙の子」は、自ら <sup>ツク</sup> 造った「 <sup>ホノ</sup> 灰かに酔ってる <sup>ミズカ</sup> AI」と <sup>タイケツ</sup> 対決する。	インスタレーション	宇宙を模したキューブの中で、「人」と「AI」が対決する。 「人」と「AI」どちらが勝っても、見ている個人は記憶と共に宇宙の塵に還り、無意味な存在になることを感じさせる作品。
15	ヤスラ タケノ 保良 雄	フランス	フー ウィー アー... オア ホウェア ウィ who we are... or where we <sup>カム</sup> come from <sup>フロム</sup>	インスタレーション	天井から吊るされた糸を、機械制御された赤い液体が滴り、温められた溶岩石に到達し、蒸発する。 自然物と機械との関係性が、見る者の記憶を呼び起こす作品。
16	ヤマモト マリエ 山本 麻璃絵 ト ヒメノ アヤ 姫野 亜也	東京都	<sup>イシノノ</sup> 石斧をモチーフにした <sup>イシノノ</sup> 石斧の彫刻 <sup>チョウゴク</sup>	立体	一人の作家が石斧の石の頭の部分を石彫で制作し、もう一人の作家が、石斧の柄の部分の木彫で制作する。 古来からある石斧をモチーフにかたちづくることで、人の根源的なつくる欲求を示す作品。
17	ユニ ホン Yuni Hong シャープ Charpe	フランス	リピート Repeat	映像 インスタレーション	フランス語による親子の会話の映像と、朝鮮舞踊の断片的な動作を相互にやり取りするダンサーたちの映像を交互に映写する。 在日コリアンとして日本に生まれ、現在フランスで暮らす作家自身の記憶のゆくえを追う作品。
18	ワン ニヤン W. N. プロジェクト Project	愛知県	イマココ Light NOW	インスタレーション	キューブを天井と壁の2か所に穴のあるカメラ・オブスキュラ（暗室）とし、内部に映り込む外の風景や空、太陽光の軌跡で、時間を可視化する。 時間を可視化し「いまここ」を見つめることで、「記憶のゆくえ」を探る作品。